

ご挨拶

本校は、明治6年「光献舎」として創立され、明治22年には「山中尋常小学校」、そして昭和22年には「三原市立中之町小学校」と改称し、現在に至るといふ、この地で脈々と歴史を重ねてきている学校です。まさに「地域とともにある学校」として、地域の皆様に温かく見守られ、ご支援をいただきながら、昨年（令和4年）創立150周年を迎えました。

本校の学校教育目標は、

『三愛』～「学びあい 思いあい 高めあいのできる児童の育成」です。

教職員はもとより、全校児童にもこの『三愛』（学びあい 思いあい 高めあい）が浸透しており、日々、この校訓ともいえる言葉を合言葉にして教育活動に取り組んでいます。

また、近年は自己表現力の育成に力を入れており、日々の授業をはじめ、さまざまな教育活動に「自己表現の視点」をもって指導に取り組んできました。児童が確かな相手意識と目的意識をもち、様々な媒体を活用し、様々な表現方法で自己や自己の考えを表現する力を、義務教育終了の15歳に向け、着実に育てていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様には、平素より本校教育に多大なるご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。今後も地域の教育力、教育資源を最大限に活用しながら、「地域とともにある学校」として歴史と伝統を大切にしたいと教育活動を進めて参ります。

どうか、これまで同様、温かいご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

令和5年4月吉日

三原市立中之町小学校長

石川 智章